

ゴ ミ ゼロ 5 3 0 レポート

第50号 2010年3月31日 発行

編集と発行 530 運動環境協議会
〔豊橋市今橋町1番地 豊橋市役所環境政策課内 電話(0532)51-2414〕
〔URL <http://www.530.toyohashi.aichi.jp> E-mail 530@city.toyohashi.lg.jp〕



環境市民530大集会講演会

本協議会では2月の省エネ月間にあわせて、豊橋市公会堂で環境市民530大集会講演会を開催しました。講師に“さかなクン”をお招きし、「さかなを通した環境問題」と題して環境についての講演をしていただきました。開場前から参加者が行列をなし、講演開始時には会場は満員となりました。講演では、さかなクンがイワシやマグロのイラストを描きながら、クイズ形式で魚の生態などを紹介しました。子供にも分かりやすく楽しいお話をしていただくと共に、海に捨てられたごみをイルカや海ガメが食べてしまい、死んでしまうこともあるなど環境美化の大切さについても話していただきました。最後には、530運動という素晴らしい運動を今後も推進していった欲しいとも話されており、ますます530運動を推進していかなければならないと思いました。今回の講演会を通して、皆さんには環境についてより興味を持っていただいたり、理解を深めていただけたことと思います。

今回のレポートでは、本協議会の平成21年10月からの主な活動についてご紹介します。

目次

- 汐川干潟クリーンアップ大作戦・・・2
- あいち環境絵本まつり……………2
- 省エネ街頭啓発……………2
- No!包装キャンペーン……………3
- 会員紹介コーナー……………4

530会員募集のお知らせ

530運動環境協議会は、環境美化活動から省資源・省エネルギー、環境教育など、今後も様々な取組みを行い、ごみがゼロになる社会を目指します。

本協議会では、活動に参加・協力していただく会員を募集いたしております。法人・団体会員は1口1万円、個人会員は1口500円、いずれも年会費で1口以上です。申込は協議会事務局窓口のほか、ホームページからできます。

汐川干潟クリーンアップ大作戦

1月15日（日）に「汐川干潟クリーンアップ大作戦」として汐川干潟の散乱ごみの清掃を実施しました。汐川干潟は渡り性水鳥の全国有数の生息地として知られ、全国に誇ることのできる干潟です。そんな大切な干潟も、今年度は台風の影響もあり、例年よりも散乱ごみが多い状態でした。

今回の汐川干潟クリーンアップ大作戦では、地元の杉山校区の皆さんや会員の皆さんなど約190名もの方にご協力をいただき、約1.4トンのごみを拾いました。大切にしていかなければならない干潟がこんなにも汚れていたことに驚くとともに、次の世代に豊かな環境を残していくためにより一層の努力をしていかなければならないことを改めて痛感しました。



あいち環境絵本まつり



1月16日（土）にあいち環境絵本まつりが豊橋市で開催されました。本協議会もごみ分別クイズを子供約140名に実施し、ごみ分別の大切さやリサイクルの重要性について啓発しました。どの子もお母さんやお父さんと相談しながら楽しく分別に挑戦していました。

また、ペットボトルが服にリサイクルされたり、プラスチックがビデオやおもちゃにリサイクルされることにとても驚いていました。

小さな頃からごみの分別やリサイクルの大切さを伝えることは、とても重要なことだと改めて感じました。

省エネ街頭啓発

2月が省エネ月間であったことから、2月1日（月）に豊橋駅で省エネ街頭啓発を実施しました。たくさんの方が通勤や通学などで行き交う豊橋駅で“ひざ掛け”を配布し、暖房の温度を下げて省エネを実施してもらうなど省エネについての意識の向上を目指しました。

1,000枚のひざ掛けを用意しましたが、20分程度で配布が終了してしまいました。皆さんがひざ掛けを使って、暖房の設定温度を低くしてくれるなど、省エネについての取組みをより進めていただければと思っています。

NO!包装キャンペーン

2月1日～2月28日にかけて「NO!包装キャンペーン」を実施しました。このキャンペーンは、余分なレジ袋や過剰包装を断ることをきっかけとしてごみ減量について考えるキャンペーンです。皆さんは、日本で1年間にどれだけレジ袋が出ているかご存知でしょうか。実は1年間で約300億枚ものレジ袋が出ているそうです。1人あたりにすると、子供から大人まで年間約250枚のレジ袋を使っている計算になります。

そこで最近では、余分なレジ袋や過剰包装を削減するためにコンビニやスーパーでもレジ袋が必要かどうかを尋ねたり、シャンプー等の詰め替え商品が多く作られたりしています。これは事業者の取り組みです。

それに対して、私たち消費者も積極的に簡易包装や詰め替え商品を選んで購入したり、マイバッグを持って買い物に行き、1枚でも多くの余分なレジ袋を減らすなどの取り組みを行うことで、より大きな効果を得ることができそうです。仮に皆さんがマイバッグで買い物し、マイバッグを5年に1度買い換えるとする、マイバッグ1枚でレジ袋1,250枚分の動きをすることになるそうです。

さて、今回の「NO!包装キャンペーン」では、「ごみ減量コンクール」としてマイバッグのデザインやごみ減

量に関する標語を募集しました。また、「CO₂を減らそう!省エネ実施キャンペーン」として簡単にできる10項目の省エネに関する取組みを設けて家庭での省エネの取組みについてチェックしてもらいました。これは、マイバッグのデザインや標語を考えていただいたり、省エネの取組みをチェックしていただくことで、改めてごみ減量や省エネについて考えるきっかけとしてもらえればと考えて実施しました。

今回の募集に対してマイバッグのデザインには49点、標語には365点、省エネチェックには176家庭という大変多くの参加をいただきました。「ごみ減量コンクール」では素敵なデザインやユニークな標語が多数ありましたが、各部門において各賞を決定し、優秀賞の折りたたみ自転車や応募作品がプリントされたオリジナルマイバッグをはじめ各賞に景品をお贈りしました。また、惜しくも受賞を逃した方へも参加賞としてマイ箸をお贈りしました。

省エネ実施キャンペーンでは応募者抽選のうえ、100名様に省エネエコタップをお贈りしました。「ごみ減量コンクール」の受賞作品、「省エネ実施キャンペーン」の集計結果は以下のとおりです。ご覧ください。たくさんのご応募誠にありがとうございました。



デザイン部門

優秀賞	伊藤 志波	「優秀賞」受賞作品
入選	杉浦 寿美恵	
〃	鈴木 雅也	
〃	鈴木 千春	
佳作	石黒 長太郎	
〃	大野 光由希	
〃	久間 萌重子	
〃	福井 英美	
〃	山本 志津絵	

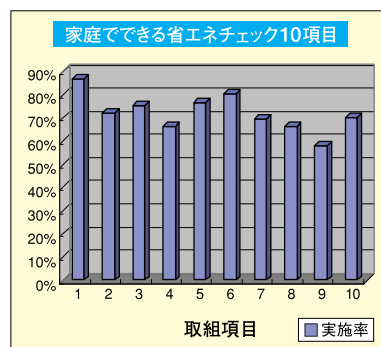
※入選と佳作の受賞作品は、ホームページでご覧いただけます。

標語部門

優秀賞	鈴木 梨以	ごみ減らす 最初の一歩は 心がけ
入選	清水 雄司	「いらない。」と かわりにさし出す エコバック
〃	立山 綾乃	もったいナイ 包装いらナイ むだがない
〃	臈 明子	みなおそう ゴミがおしえる むだづかい
佳作	赤石 裕佳里	持ったかな? 買い物メモと マイバッグ
〃	朝倉 康太	リサイクル ごみを出さずに ちえをだす
〃	今泉 伝	我が家から 始める減量 ゴミとムダ
〃	藤山 とも恵	レジ袋 いらないときは ことわろう
〃	彦坂 浩二	買うときに 考えてみる ゴミのこと

省エネ実施

家庭でできる省エネチェック10項目	実施率
1. 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する	87%
2. 電気カーペットの設定温度を低めにする	72%
3. 冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにする	76%
4. 間隔をあけずにお風呂に入る	66%
5. シャワーを1分短くする	77%
6. 洗濯物をまとめて洗うようにする	81%
7. 車の発進時にふんわりアクセル「eスタート」をする	70%
8. 家電製品を使わない時にコンセントを抜く	66%
9. 1日1時間テレビの利用を減らす	58%
10. 家族団らんし、暖房と照明の利用を20%削減する	70%



会員紹介コーナー

今回はアイセロ化学(株)さん、三河湾明海地区産業基地運営自治会さんの環境に関する取り組みなどについて紹介します。

— 地球環境共生型企業を目指して —

アイセロ化学株式会社

私たちアイセロ化学は創業以来、「包む」機能にこだわり、世の中に本当にお役に立つ商品を提供することを目指し、汎用プラスチックに独自技術を加えた機能性フィルムと容器の技術開発型メーカーです。

弊社の商品であるプラスチックは、ちょっと処理を誤ると環境汚染の原因となります。それゆえ、携わるものとして謙虚に何をすべきかを見極め、実行するときだと考えています。そして、プラスチックを文明の果実として大切に育てていきたいと願っています。

そのため、『徹底して省資源化を考える』『再利用、リネージュさせる』『プラスチックとして再生、リサイクルさせる』『再生が不可能になったものはエネルギー化させる』『どうしても環境破壊の恐れがある用途の時は、生分解などの環境に悪影響を与えない商品の開発をする』『カーボンニュートラルの植物由来プラスチックの製品化』、こんな考えで取り組んでいます。

私たちは、ゼロエミッション(排出ゼロ)活動を全社展開しており、社内で発生したプラスチック製品屑や加工屑は分別・収集し、リサイクル化、再利用化を積極的に推進。自社で利用できない排出物は分別して定期的に回収し、再利用できる企業及びグループ会社に提供することで、企業間のリサイクル活動を推進しています。

また、地域河川の朝倉川の環境美化を目的として行われている、朝倉川育水フォーラム主催の「朝倉川530大会」の清掃作業に環境美化ボランティアとして参加しています。



— 産業基地の530運動 —

三河湾明海地区産業基地運営自治会

日本一の自動車輸入をはじめ、国際貿易港として発展を続ける三河港。その一角に明海地区産業基地が広がり、国内外の優良企業が活発な産業活動を展開しております。

現在、会員数79社、約1万人の従業員がいる「三河湾明海地区産業基地運営自治会」は社会貢献活動として、毎年「海の日」に行われる港フェスティバルの「ポート・パスツァー」や、近隣の小学校へ学用品の贈呈をするなど、様々な活動に取り組んでいます。

それらの活動の一環として、530運動も実施しており、平成元年から毎年2回、春と秋に行われております。開始当初から毎回約1,000人の参加があり、各企業が530活動に非常に積極的に取り組み、現在では毎月1回自主参加型の月例530運動を実施するまでになりました。主に道路や側溝、中央分離帯に落ちている空き缶、ペットボトルなどを回収していますが、その他に産業基地ならではのゴミを紹介致しますと、コンビニ弁当の容器・雑誌・毛布・タイヤ・廃材・引っ越しゴミなど、市街地では見かけないゴミも多くあり、回収にとっても苦労していますが、そこは企業間で協力し合い回収に努めていますので、530運動を行うことが、企業間の一層の繋がりを深め、非常に良い交流の場ともなっております。

「三河湾明海地区産業基地運営自治会」の会員は、各社独自の環境保全活動や社会貢献活動に取り組んでおり、今後も530運動を継続しながら、ポイ捨てゼロの産業基地を目指し、積極的に取り組んで参ります。

